

## 地域を支える 未来を守る！BCPの運用のポイント ～サステナブルな訪問看護事業運営を目指して～

【日時】 令和7年12月20日(土)10:00～16:00

【参加方法】 Web研修(ライブ配信)  
※講義資料(スライド)はPDFデータをダウンロードいただく形式です  
※当日の出欠に関わらず、受講決定した方全員に後日アーカイブ配信をご案内いたします

【ワーク】 資料内にワークがあります。事前に取り組んでいただくと研修がスムーズに進みます

【対象】 訪問看護ステーションの経営者、管理者、担当者、スタッフ、訪問看護に関わる方等

【ねらい】 BCP研修や訓練の企画運営ができる

【受講料】 財団会員 8,200円(本体 7,455円+税)/ 非会員 18,000円(本体 16,364円+税)

### ●タイムスケジュール

12月20日(土)

日程	研修内容	講師
9:30～9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション / 事業のご案内	公益財団法人 日本訪問看護財団
10:00～11:00	改めてBCPとは(なぜ必要なのか) シミュレーション訓練の体験と解説 質疑応答	稲葉 典子 氏 (社会医療法人甲友会 在宅事業部副部長 西宮協立訪問看護センター管理者・訪問看護認定看護師)
11:00～11:10	小休憩	
11:10～11:40	自ステーションのチーム活動で取り組むBCPの策定・研修・訓練	吉田 聖名子氏 (社会福祉法人西宮市社会福祉事業団 西宮市訪問看護センター所長・認定看護管理者)
11:40～12:10	BCP研修・訓練のバリエーションを紹介 →自ステーションの企画運営案を作成してみよう (個人ワーク)	稲葉 典子 氏
12:10～13:10	昼休み	
13:10～13:30	連携型BCP構築に向けた取り組みの紹介(1) ・人工呼吸器24時間利用者の行政との安否確認 ・拠点ステーションの発電機整備 ・ステーションのBCP策定支援相互協力	吉田 聖名子氏
13:30～14:20	連携型BCP構築に向けた取り組みの紹介(2) ・訪問看護ステーション同士の連携支援体制の構築 ・行政との支援協定策定に向けた活動 ・質疑応答	稲葉 典子 氏
14:20～14:30	小休憩	
14:30～15:00	事例を用いた連携型BCPシミュレーション研修 (個人ワークと発表あり) ①がん終末期事例 ②精神疾患事例	吉田 聖名子氏
15:00～15:55	連携型BCPの文書化 地域BCPIにおける訪問看護の役割 能登半島地震の災害支援から考える「受援」について	稲葉 典子 氏
15:55～16:00	アンケート記入	

注)プログラム・講師等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。